

あかつかやま

2015 年 10 月 No. 59



「秋の“ぎょ長”の水族館」で展示した光る魚

CONTENTS

・ 特 集	赤塚山公園のお掃除事情	山口 正 2
・ 付 録	発見！あかつかやま	4
・ 園長の散歩道	飼育員さんの仕事	清川民啓 5
・ 報 告	秋の“ぎょ長”の水族館	5
・ イベント	企画展「みんなの写真展」作品募集	6

特集

赤塚山公園のお掃除事情

赤塚山公園の総面積は25.1ヘクタール。名古屋ドームが5つも入る大きさで、3つの池と3つの山が東から西に並んでいます。その中には、サッカーができる「市民のスクエア」、淡水魚水族館「ぎょぎょランド」、水遊びができる「水の広場」、小動物広場「アニアニまある」、「花しょうぶ園」、「梅園」、大きな大きな「芝生広場」が散策路で結ばれ、乳幼児から年配の方までその目的に合った楽しみ方ができる総合公園となっています。

その25.1ヘクタールの管理？メンテナンス？掃除は、4人の専任職員がシルバー人材センターの職員7人と日々格闘しています。また、専門的な技術や機材が必要なところもあり、春夏秋の3回は3つの造園業者に作業を委託しています。

1年間を通すと、倒木や土砂の流失など復旧のための作業もありますが、ここでは、来園者の方に気持ちよく過ごしていただくため、日々実施している作業を紹介します。

芝刈り・芝張り

ぎょぎょランド、水の広場周辺には、シートを敷いてお弁当を広げていただくのにうってつけの芝生が点在しています。この緑を維持するため芝刈りや雑草取りは勿論のこと、去年は300平方メートルほど芝張りをしました。



■芝生はエンジン駆動の芝刈機で



■ベニバナトキワマンサクのラクダを剪定中

ソツツジ、アベリア、コデマリ、カナメモチ、ゲッケイジュなどの生垣が配置しており、春と秋の2回剪定をしています。

ぎょぎょランドの南には、アヒル池を取り囲むように、ワシ、ライオン、ゾウ、ラクダ、キリン、クジラを植物で形にしたトピアリーがあります。これらも形を維持するため春秋に剪定をしています。



■ヤナギは毎年1〜2本の枝を残して丸坊主に剪定

生垣・トピアリー・樹木の剪定

園内にはありとあらゆる場所にソツツジ、サツキをはじめサザンカ、ウバメカシ、ドウダ

草刈り・草取り

赤塚山公園は、広場、散策路をはじめ、ありとあらゆるところが草刈り場です。特に5月から10月までは、短いところでは2週間の間隔で草刈りを実施しています。園内は年間を通して解放していますので、一部を区切った作業となってしまいます。石などが飛ぶことがあります。近づかないなどのご協力をお願いします。

草刈り機を使用できないところや草を根から排除したいところでは、草掻きを手に草取りも実施します。



■雨の日もカッパを着込んで作業をします



■芝生を維持するのは大変です

掃除

園内は自然の山を活かした散策路が、縦横無尽に走り、四季折々の表情をみせてくれます。木立の中の散策路は夏日陰をつくり、冬は風を遮ってくれますが、季節の変わり目や、雨風の翌日は大変な作業がまっています。山

の中の作業は、作業車両も入りませんので、竹ぼうき、熊手またはエンジンブローで枯葉や小枝を寄せ集めて谷側に集積します。植物の成長は早く、いつのまにか散策路を塞いでいたり、日々の点検作業も手が抜けません。



■掃除をしたばかりでも、また枯葉が・・・

10月の掃除

10月に入ると、赤塚山は大変。落ち葉ばかりではありません。園内のいたる所で、ドングリやシイの実が散策路に散乱しています。



■足元に秋の味覚が落ちていくかも。イガグリがヒントですよ

運が良ければ、クリやクルミが拾えるかもしれません。山の中の散策路がねらい目です。職員によく落ちている場所を聞いてみるのも一手です。ドングリなら1時間も頑張ればバケツ一杯も夢ではありません。

植栽係長 山口 正

付録 発見!あかつかやま

さかな編 ^{へん} ～ かたちとおよぎかた～

したの さかなを かんさつし そのかたちと およぎかたを
えらんで せんで むすぼう。

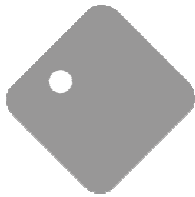
ソウギョ

ドジョウ

モトロ

エンゼルフィッシュ

よこ



まえ



およぎかた

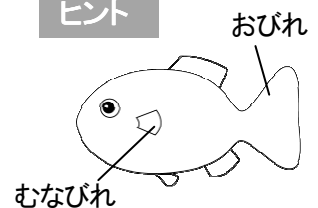
○おもに おびれを つかって およぐ

○からだ ぜんたいを くねらせて およぐ

○おもに むなびれを つかって およぐ

○からだ (むなびれ) を なみうたせて およぐ

ヒント



(こたえは まどぐちに よういして あります。)

園長の散歩道

飼育員さんの仕事

みなさん、こんにちは。赤塚山公園園長の清川民啓です。猛暑だった今年の暑さも、10月の声を聞くと、さすがにしのぎやすくなりました。

先号から、当園で働く職員と、その仕事の紹介を始めました。最初に魚や動物の飼育に携わる飼育職員の仕事の紹介をしましたが、今号はその続きです。

赤塚山公園は、一昨年7月に開園20周年の節目の歳を迎えました。その折り、飼育職員9人が「今後は、市内の小中学校の求めに応じて出前授業をしよう！」「園外の方たちと積極的に交流をしよう！」と、話し合っ決めてくれました。私も、もちろん大賛成でした。それまでは、来園者の他、市内外の小中学生や、諸団体の方等を当園にお迎えして、先号で紹介をしたイベント等で楽しんでいたのですが、それに、外に向かっての積極的な交流をプラスしたのです。

その甲斐あってか、昨年から今年にかけて、初めての試みである豊川市の新任教員研修を2回行っていたり、出前授業も1年間で13の小学校にお伺いしました。当園で研修をされた先生方が、子どもたちを連れて利用してくれたり、出前授業でお伺いした学校の子どもたちが、ここに遊びに来てくれば、こんな嬉しいことはありません。

私は、来園された方に楽しんでいただき、また来たいと思ってもらえる公園づくりを心がけていますが、思っているだけでは気持ちは伝わりません。しかし、先号から今号にかけて紹介した飼育職員9人の仕事に対する取り組み、思いをみていただければ、何回も来園したいと思ってもらえる人が多勢増えることと信じています。

これからは、1年を通して一番過ごしやすい季節です。皆様のご来園を心よりお待ちしております。その時は、飼育職員にお気軽に声をかけて下さい。きっと、とびっきりの笑顔が返ってくること、請け合いです。

報告 秋の“ぎょ長”の水族館

秋の“ぎょ長”の水族館は、秋の夜長を「ぎょぎょランド」で楽しんでもらおうと行った企画です。期間は9月19日（土）から23日（水）の間で、開催時間が通常閉館している午後5時から8時でした。内容は、午後5時30分にカウントダウンを行い消灯しました。消灯後は持参した懐中電灯を使って館内の生き物を観察し、明るいとときは違う生き物の様子を見ることができました。また、クイズラリー「ぎょぎょランドからの挑戦状」では、大人も子供もクイズに挑戦していました。このクイズは、超難解でしたが来園者の方々には、達成感があつたようで好評でした。さらに、創造の部屋では、光る魚のぬりえの展示をしました（表紙写真）。来園者に蛍光ペンで描いてもらったぬりえを、企画中にブラックライトで光らせました。この部屋は、幻想的な空間でした。入館者数は19日が315人、20日が413人、21日が312人、22日が476人、23日が322人で、5日間の合計が1838人となりました。なかには、数日通うご家族もみえ、大盛況の企画になりました。



イベント

企画展「みんなの写真展」



作品募集

内 容： 平成 28 年 2 月 10 日（水）～3 月 13 日（日）の期間に実施する
企画展「みんなの写真展」に展示する作品を募集します。
募集期間： 平成 27 年 11 月 1 日（日）～12 月 28 日（月）

園内で撮ったものなら、なんでも OK。すべて展示させていただきます！

※参加者には展示終了後、パネルに加工した作品をプレゼントします。



メールからも応募できるようになりました！
左の QR コードを読み取ると、メールフォーム
が立ち上がります。



応募方法の詳細は、ぎょぎょランド窓口でお配りしている「作品応募要項」をご覧ください。
また、豊川市のホームページからもダウンロードできます。

行事・イベントの報告

平成 27(2015)年 8 月～

平成 27(2015)年 9 月

- 8/3 豊川市教員初任者研修
- 8/5 サマースクール ～生き物の看板を
作ってみよう～第 2 回 10 人
- 8/5～12 ルネサンス・ペット・アカデミー・専門
学校 インターンシップ 1 人
- 8/7 バックヤード見学 第 3 回目 13 人
- 8/10 社会体験研修 愛知県立岡崎特別
支援学校 1 人
- 8/14 バックヤード見学 第 4 回目 10 人
- 8/18 豊川市生活科主任会
夏季実技研修 40 人
- 8/19 サマースクール ～生き物の看板を
作ってみよう～第 3 回 3 人

- 8/21 バックヤード見学 第 5 回目 14 人
- 8/24・26 特別支援学校初任者研修
愛知県豊川特別支援学校 1 人
- 8/26 サマースクール ～生き物の看板を
作ってみよう～第 4 回 6 人
- 8/28 バックヤード見学 第 6 回目 12 人
- 9/11 メーテレ「ドデスカ！」取材
- 9/12 動物保護管理センター東三河支所主
催「あいち動物遺棄防止キャンペー
ン」
- 9/19 とよかわ観光資源探訪ツアー(環境
課) 40 人
- 9/19～23「秋の“ぎょ長”の水族館」
参加者 5 回計 1838 人

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称： 豊川市長 山脇 実 登録番号： 動東第 119 号
事業所の名称： 豊川市赤塚山公園 登録年月日： 平成 18 年 9 月 28 日
事業所の所在地： 愛知県豊川市市田町東堤上 1-30 有効期限の末日： 平成 28 年 9 月 27 日
動物取扱業の種別： 展示 動物取扱責任者： 前田 民男

編集・発行

あかつかやま No. 59 2015/10/15
豊川市赤塚山公園
〒442-0862 豊川市市田町東堤上 1-30
TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は 12 月 15 日発行です。